

# 知っておきたいオンライン コミュニケーションの特性

メールやメッセージアプリを使ったインターネット上の（＝オンライン）コミュニケーションは、社会生活に欠かせないものになりつつあります。ただし、その特性をしっかりと理解しておかなければ、無用な誤解や気持ちのすれ違いを生む原因にもなりかねません。



## オンラインコミュニケーションの特性

主に文字を使って行われるオンラインコミュニケーションは、例えば「午前10時に〇〇駅に集合」のような情報を確実に伝えることができます。一方、通常の対面のコミュニケーションにある表情や声色などから相手の気持ちを推し量るということができづらいという欠点もあり、利用する際に、つい強い言葉を使ってしまう、大胆なことを書いてしまう、打ち明け話などの自己開示をしすぎる、などといった場面が見られます。

## 対面とオンラインのコミュニケーションを目的に応じて使い分けを！

オンラインコミュニケーションは伝達手段として社会的スキルの一部となりつつあります。その特性を理解した上で、対面のコミュニケーションとオンラインコミュニケーションを目的に応じて上手に使い分けできるようになることが必要です。

### 《オンラインコミュニケーションの利用が効果的な場合》



- ・正確に伝えたい情報がある時
- ・相手が遠方であったり、時間に余裕がない時
- ・すでに親しい間柄である時など

### 《対面のコミュニケーションを優先した方が良い場合》



- ・気持ちを伝え合いたい時
- ・すぐに会える場合や、時間に余裕がある時
- ・相手との心理的距離がまだ遠い時など

## 御家庭での対応

お子さんとの連絡にオンラインコミュニケーションを使っている御家庭も多いのではないのでしょうか。そのような機会を上手に使い、お子さんにオンラインと対面のコミュニケーションの使い分けの見本を見せることはとても効果的です。また、トラブルの原因になるから使わせないということではなく、「感情を伝えるには不向き」、「つい言い過ぎてしまうことがある」、「いつまでも送った相手に残っているもの」といったオンラインコミュニケーションの特性をしっかりと理解させ、どのように使っていくべきか、お子さんと話し合ってみましょう。